

2010（平成22）年度

フィールドスクール応募要項

大学院教育改革支援プログラム「研究と実務を架橋するフィールドスクール」（通称：改革プログラム）では、ASAFASの院生を対象にフィールドスクールを開校します。フィールドスクールは、大学院に在籍しながら実務の現場を見聞する機会を提供し、将来的に研究と実務を行き来できるような人材の養成をめざすものです。本プログラムの詳細は、改革プログラムホームページを参照してください。<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/kaikaku/>

1. 本年度概要

本年度のフィールドスクールは、以下の2ヶ所で開校予定です。

タイ・フィールドスクール（タイFSC）：9月12日～21日

ナミビア・フィールドスクール（ナミビアFSC）：11月12日～21日

院生は、フィールドスクール開始前後、あるいはスクールをはさんで、各自の調査地でフィールドワークを実施することができます。アジアをフィールドとする院生がナミビアのフィールドスクールに、あるいはアフリカをフィールドとする院生がタイのフィールドスクールに参加することを推奨します。両方のフィールドスクールに申し込むことができます。その際には、申請書に第一希望がどちらかを記入して下さい。

2. 応募期間（両スクールとも同じ期間）：6月14日～6月30日

3. フィールドスクール日程（予定）

(1) タイFSC

5月上～中旬	事前講義（京都）*タイFSC参加希望者はこの講義に参加して下さい。
9月12日	現地集合
9月13-16日	演習（テーマ：森を守る住民の活動）
9月17日	チェンマイ大学の学生・教員との意見交換会
9月18日～19日	演習（テーマ：都市化の問題、チェンマイの歴史）
9月20日	まとめのワークショップ、解散

協力機関：特定非営利活動法人 Link・森と水と人をつなぐ会、チェンマイ大学

(2) ナミビアFSC

*10月頃に事前講義を予定しています。

11月12日	現地集合
11月13日	講義（テーマ：野生動物保護、開発援助等）
11月14日	ウインドフック→ゴバベップ
11月15日～18日	演習（テーマ：乾燥地域における植生、資源利用、人々の暮らし）
11月19日	ゴバベップ→ウインドフック
11月20日	講義（ウイントフック）

11月21日 閉会式（解散）

協力機関：砂漠研究所

4. 応募資格

応募資格のある人：在学中の ASAFAS 院生

一年生ならびに今回初めて応募する人を優先します。博士後期課程の院生、2008 年度・2009 年度フィールドスクール参加者も応募できます。

応募資格のない人：休学中の院生、学振 DC、PD 研究員、研修員、研究員

応募資格のある人でも、他資金による研究助成等を受けている場合、特に ITP による研修や G-COE の助成による派遣を実施中の院生は、以下のような制限がありますので留意してください。

- ・ ITP による語学研修をうける院生：タイで ITP 語学研修をうける院生はフィールドスクールに応募できます。この場合、ITP から滞在費が支給されるため、改革プログラムからはスクール開催期間中の宿泊スペース借り上げ費等の経費（滞在費相当）は支給されません。
- ・ タイ以外で ITP 研修をおこなう院生は、研修期間の開始直前、あるいは終了直後に組み合わせることによって、フィールドスクールに応募できます。
- ・ G-COE の助成によるフィールドワークをおこなう院生：フィールドスクールへの応募資格はありますが、G-COE の助成による派遣期間とこのプログラムの派遣期間を明確に区分して届け出る必要があります。
- ・ 他の資金（民間の研究助成など）によるフィールドワーク・渡航をおこなう予定のある院生：事前に改革プログラム支援室まで問い合わせてください。

5. 募集人数

フィールドスクール1カ所につき10人程度

6. 支援経費

以下の項目について資金の補助をします。各項目についておよその必要金額を調べ、申請書に記入して下さい。申請経費の額は諸事情を勘案して決定されます。申請した必要経費の全額が支援されるとは限りません。

- (1) 航空賃：外国交通費（想定される以下のケースについて助成します）
 - ・ 日本ーフィールドスクール開催地ー日本
 - ・ 日本ー院生の調査対象地ーフィールドスクール開催地ー日本
 - ・ 日本ーフィールドスクール開催地ー院生の調査対象地ー日本
 - ・ 日本ー院生の調査対象地ーフィールドスクール開催地ー院生の調査対象地ー日本
- (2) フィールドスクール開催期間の宿泊費、交通費等（食費を除く）
- (3) 調査地での調査に必要な経費：宿泊費、国内交通費、図書費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費など（謝金、食費を除く）
- (4) その他：査証取得代

7. 申請方法

申請書に必要事項を記入のうえ、kaikaku@asafas.kyoto-u.ac.jp へメールで提出して下さい。
件名を「〇〇フィールドスクール申請（申請者名）」として下さい。

8. 選考基準

書類審査を行います。審査にあたっては、申請者がフィールドスクールに参加することによって、自身の研究、あるいは将来設計に活かすことができるか、フィールドスクール前後に自身の調査地で研究を行う場合は、問題意識をもってフィールドワークを遂行できるか、明確な研究計画を提示できるか等を基準に選考します。

9. 注意事項

- ・ 応募者は、指導教員とよく相談して研究計画を綿密にたて、渡航ルートと渡航期間を決め、飛行機便などを含め自分でルートを下調べし、十分に検討してから申し込んで下さい。
- ・ 申請された旅程は、改革プログラム実行委員会が検討し、結果を連絡します。申請した旅程の変更を指示、あるいはアドバイスされた場合は、旅程を再度検討し、再提出して下さい。
当初申請した旅程、あるいは再提出した旅程が認められた後での旅程変更はできません。
- ・ フィールドスクール終了後に自分の調査地でフィールドワークを実施する場合は、2011年3月10日までに帰国してください。
- ・ 研究以外の目的での旅行と組み合わせることはできません。
- ・ 航空チケットは日本で手配します。日本で手配出来ないチケットに限り現地購入を認めます。
- ・ 自身の調査国に必要なビザは、各自で手配してください。
- ・ 帰国後には、フィールドスクールおよびフィールドワークについて報告書の提出が義務づけられています。報告書はプログラムのHPで公開します。
- ・ フィールドスクール参加を利用して、論文等を執筆する場合は、「大学院教育改革支援プログラム」による「研究と実務を架橋するフィールドスクール」から費用支援を受けたことを明記してください。また公表された論文別刷りなどは、成果物としてプログラム支援室に提出願います。

問い合わせ先

改革プログラム フィールドワーク・インターンシップ支援室 kaikaku@asafas.kyoto-u.ac.jp

金子守恵 Tel. 075-753-9637, email: kaneko@asafas.kyoto-u.ac.jp

落合知子 Tel. 075-753-9636, email: ochiai@asafas.kyoto-u.ac.jp

小川裕子（事務担当） Tel. 075-753-9654, email: y-ogawa@asafas.kyoto-u.ac.jp